

旧石器ハテナ館だより

せんとうき  
**尖頭器**



尖頭器とは、主に旧石器時代に使われた狩猟具です。

旧石器ハテナ館  
(史跡田名向原遺跡  
旧石器時代学習館)  
神奈川県相模原市中央区  
田名塩田 3-23-11  
042 777 6371  
平成 26 年 1 月 8 日  
【第 21 号】

# 登呂遺跡へのバスツアー開催

今年のバスツアーでは、弥生時代の農耕集落として有名な静岡県の登呂遺跡へ行きました。登呂遺跡は博物館の建て替えや集落の復元が行われ、平成 22 年の秋にリニューアルオープンしています。相模原市域ではあまり確認されていない弥生時代の遺跡を見学することによって、旧石器時代に限らず、有史以前の日本について広く理解を深めてもらうことが狙いです。

当初は 10 月 26 日(土)に実施する予定でしたが、台風 27・28 号の接近とタイミングが重なり、急遽 12 月 7 日(土)に延期となりました。延期の甲斐あって当日は肌寒い気温ながらも晴天に恵まれ、行きの高速道路からは、世界遺産に登録されたばかりの富士山も間近に見ることが出来て、車内からは歓声も聞こえました。



臼と杵で脱穀体験



復元住居の前で解説を聞く



棟持柱が特徴の祭殿

ケ里遺跡や愛知県の朝日遺跡などから出土した、登呂遺跡にはない弥生時代の武器などが沢山ならんでおり、参加者の方達の興味を引いていました。

帰りは大きなアクシデントもなく、参加者の皆さんには楽しんで帰ってくることが出来て、良いツアーとなりました。

予定通りにバスも到着し、まずは二手に分かれて、復元住居が建てられた屋外の遺跡と館内の常設展示室にそれぞれ向かい、博物館の方に案内をお願いしました。遺跡の方では、復元住居の前に水田が広がっており、当時の集落のスケールを実際に感じる事が出来ます。復元住居の中には見学者が入ることも可能で、その他にも臼と杵による脱穀や、石器作り、火起こしなどを体験できるコーナーなどが設けられており、スタッフの方に指導を受けながらそれらにチャレンジする人もいました。

館内の常設展示室では、登呂遺跡の地理的な特徴や集落の様子などを分かりやすく解説していただき、様々な出土遺物を見ながら、そこから想像できる当時の人達の暮らしに思いを馳せました。また登呂遺跡発見の経緯や、その学問的な重要性についても知ることが出来ました。

遺跡と展示室を回った後は、館内のホールで各自用意した昼食をとり、午後は出発の時間まで自由見学としました。企画展示室では「弥生の戦い その時登呂ムラは!？」と題した展示を開催中で、佐賀県の吉野



展示室の集落模型

# 文化財探訪 月見野遺跡群を歩く

毎年、春と秋に旧石器ハテナ館の周辺地域で行うのが恒例となっている文化財探訪ですが、今回はお隣の大和市にある、月見野遺跡群をめぐる探訪を行いました。月見野遺跡群は昭和 40 年代の大規模な造成工事に伴って調査され、同じ地域から数多くの遺跡が発見されたために、遺跡間の関係や当時の集落のあり方に着目するきっかけになり、それまでの旧石器時代の研究を大きく変えたとも言われる重要な遺跡群です。いつもと違う地域を取り上げたためか、定員を上回る申し込みがあり、何人かの方はお断りしなければいけない程でした。



出発前のご挨拶

開催日は 11 月 9 日(土)、小雨がちな寒い日となりましたが、参加者のキャンセルも



解説案内版を見ながら

なく、無事に全員集合して出発しました。月見野遺跡群が発見された地域には、境川の支流である目黒川が流れており、現在では住宅街になっていますが、起伏に富んだ地形をしていて、遺跡を見ながらそのアップダウンを自分の足で実感することができます。今回はまずつきみ野駅から月見野第 1 遺跡、上野遺跡を回り、次に線路を越



目黒川に沿って



つる舞の里歴史資料館で

えて月見野第 2 遺跡、下鶴間浅間社遺跡、相模野第 149 遺跡を巡るコースでした。各ポイントでは、案内表示板などを見ながら随行のスタッフが解説を行い、最後には大和市のつる舞の里歴史資料館で発掘された遺物を見学して解散となりました。この日は企画展の開催中だったため、月見野遺跡群の資料は展示されていなかったのですが、資料館のご厚意で特別に見せていただくことが出来ました。参加者の皆さんも熱心で、質問も多く出ていました。

今回の企画が好評だったことを踏まえ、今後も旧石器ハテナ館の周辺地域に限らず、近隣地域の興味深い文化財を取り上げること検討しています。お楽しみに！

## 職場体験の学生を受け入れ

行事紹介  
シートの作成



勾玉づくり教室  
のお手伝い

旧石器ハテナ館では、学校などから要望があれば、職場体験の児童や学生を受け入れています。今年度に入ってから、インターンシップ生として和光大学の学生が1人と、地域体験の一環としてハテナ館の近くにある夢の丘小学校の6年生3人がハテナ館にやってきました。まずはじめに施設の特色を理解した上で、展示室の模擬解説にチャレンジしたり、体験教室の指導補助をしたり、館の行事を紹介するシートを作成したりしました。また館の敷地内や周辺のゴミ拾いなど美化にも協力して貰いました。普段はお客さんとして来ている場所を働く立場から見て、感じて、考えることが出来たのではないかと思います。